

# ごみが処理されるまで

～空へとつづく「ごみ」のたび～



くうきよねつき

つつか

## 空気予熱機を通過します。

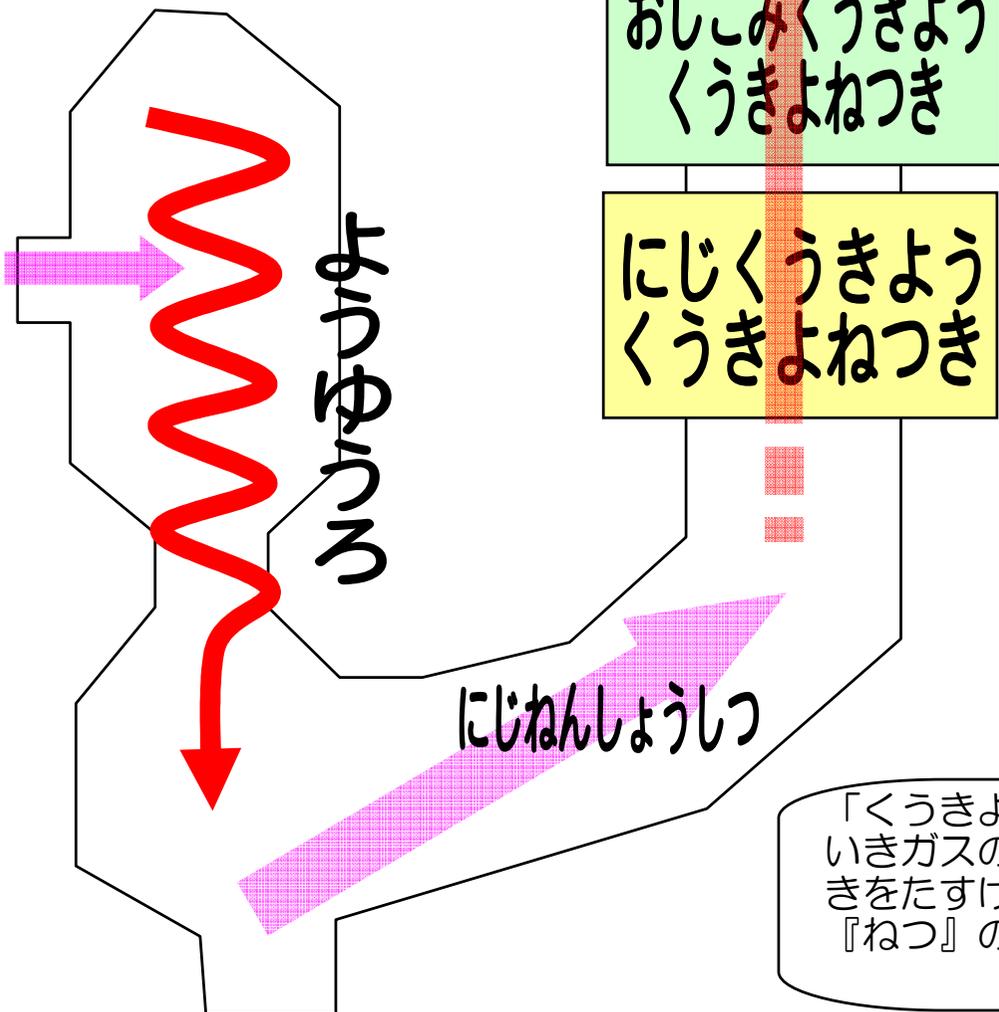
二次<sup>にじ</sup>燃焼室<sup>ねんしょうしつ</sup>を通過<sup>つうか</sup>した、排ガス<sup>はい</sup>は次に<sup>つぎ</sup>空気予熱機<sup>くうきよねつき</sup>を通過<sup>つうか</sup>します。

空気予熱機<sup>くうきよねつき</sup>は、「二次<sup>にじ</sup>空気用<sup>くうきよう</sup>空気予熱機<sup>くうきよねつき</sup>」と「押込<sup>おこ</sup>空気用<sup>くうきよう</sup>空気予熱機<sup>くうきよねつき</sup>」の2種類<sup>しゅるい</sup>あり共に<sup>とも</sup>、溶融炉内<sup>ようゆうろない</sup>の温度<sup>おんど</sup>を再利用<sup>さいりよう</sup>する仕組み<sup>しく</sup>になっています。

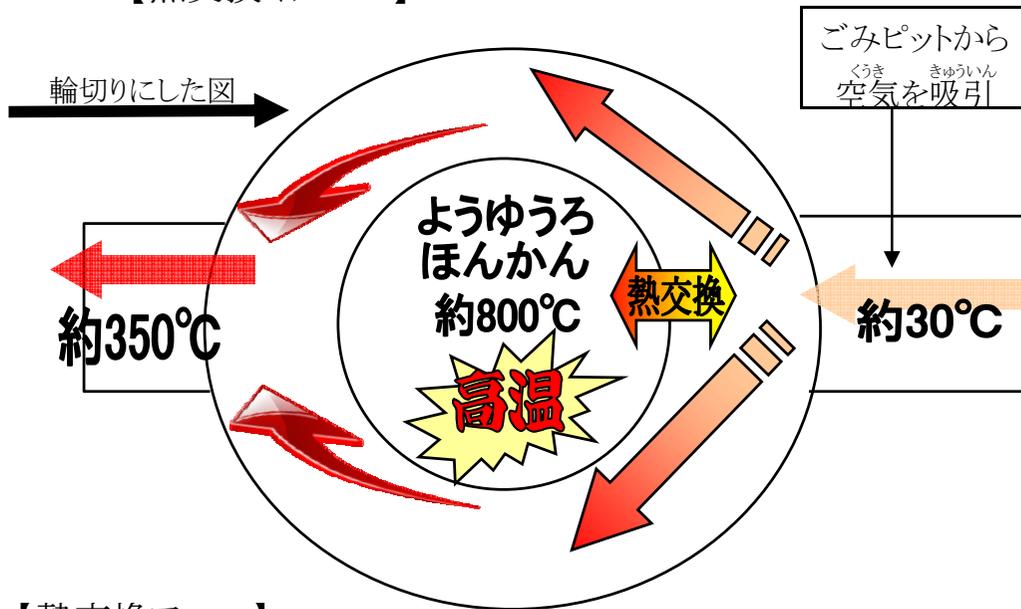
溶融炉内<sup>ようゆうろない</sup>を通過<sup>つうか</sup>した排ガス<sup>はい</sup>の温度<sup>おんど</sup>を、空気予熱機<sup>くうきよねつき</sup>を使用<sup>しよう</sup>し熱交換<sup>ねつこうかん</sup>する事<sup>こと</sup>で、排ガス<sup>はい</sup>の温度<sup>おんど</sup>を下げると共に<sup>とも</sup>、空気予熱機<sup>くうきよねつき</sup>で暖めた<sup>あたた</sup>空気を<sup>くうき</sup>ガス化炉等<sup>かろなど</sup>の燃焼<sup>ねんしょう</sup>の「助け<sup>たす</sup>」とするのです。

# くうきよねつき ねつこうかん 空気予熱機による熱交換

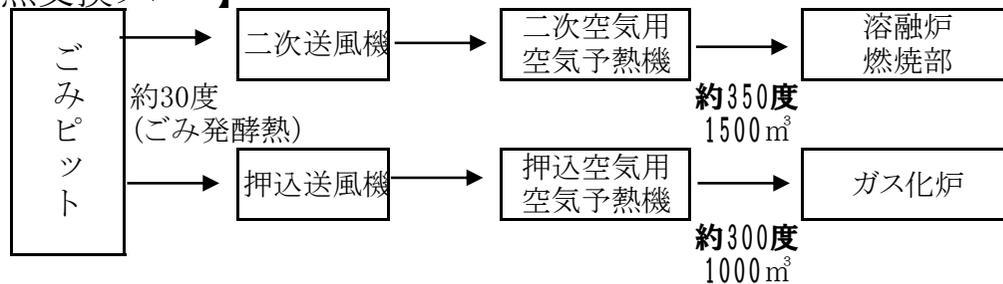
## ねつのさいりよう



【熱交換イメージ】



【熱交換フロー】



「くうきよねつき」によって、えんとつから出るはいきガスのおんどを下げると共に、あたためたくうきをたすけるちからとして使っています。  
『ねつ』のさいりようをしているんだ！

